

木簡断片 語る古代

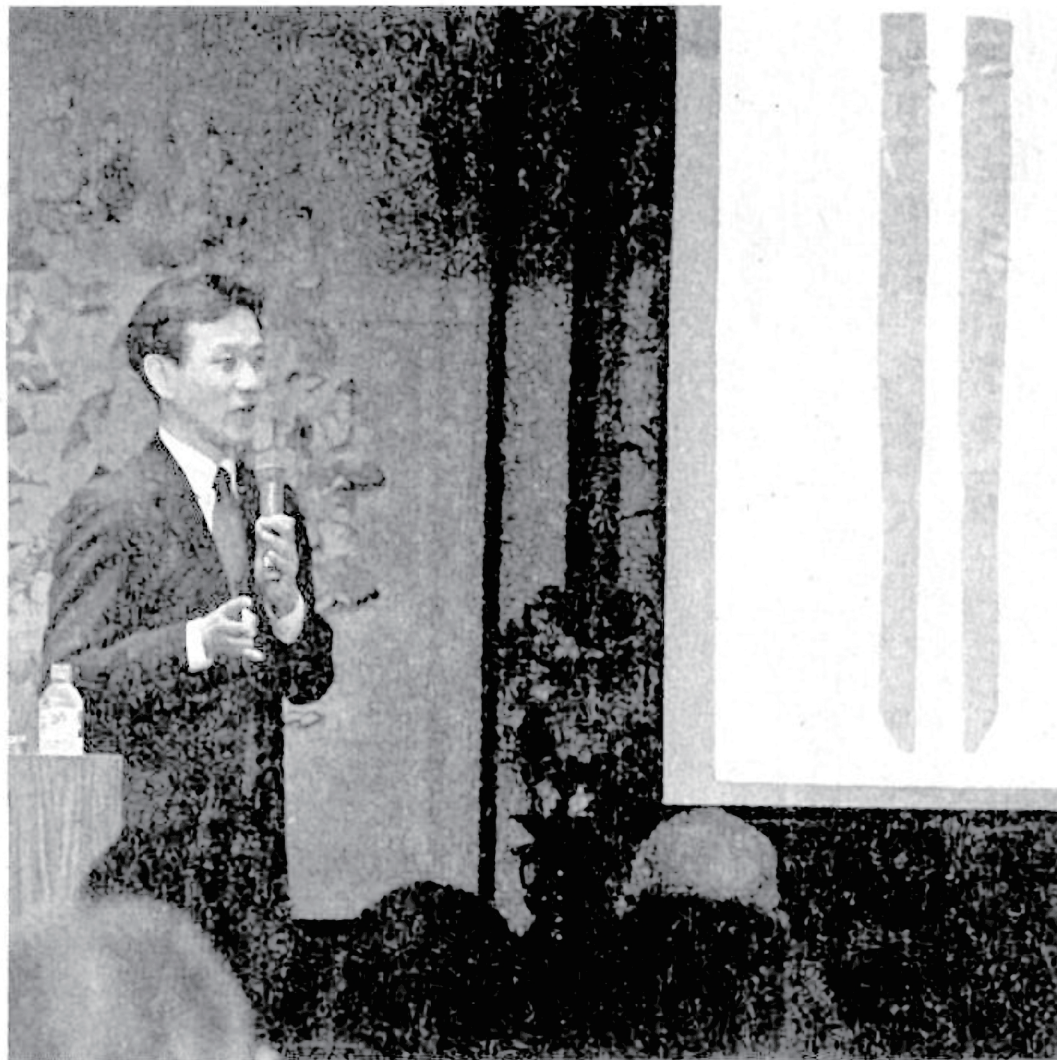
奈文研・埋文センター長講演

薬師寺月例

まほろば塾

日本人の美しい心や豊か

な文化を伝える「月例奈良
まほろば塾」（読売新聞社
後援）が15日、奈良市の薬
師寺で開かれた。平城宮跡



「小さな断片から大きな事実が分かる」と
木簡の魅力を語る馬場さん（奈良市で）

などで木簡の発掘や研究に
長年携わる、奈良文化財研
究所埋蔵文化財センター長
の馬場基さんが「木簡から
読み解く奈良時代の暮ら
し」と題して講演し、約1
00人が聴き入った。

馬場さんは「残そうと意
図されなかった文字が残
り、小さな断片を集めるこ
とで大きな事実が分かる」
と木簡の魅力を説明。「常
食菜甚悪」と当時の役人が
食事への不満を述べたり、
「此所不得小便」と立ち小
便を禁止したりといったユ
ニークな内容の札も紹介
し、「木簡が記された背景
にも想像を巡らせ、古代の
人たちがこの場所で生きて
いた、という手応えを感じ
てほしい」とまとめた。

次回の月例塾は7月20
日、作家の澤田瞳子さんが
講演する。